



2024年4月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 工 藤 智 昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 上 級 執 行 役 員 (CFO) 兼 菊 川 淳
投 資 戦 略 部 部 長
(TEL. 03-5909-8177)

ソーシャルワイヤー株式会社の第三者割当増資引受による子会社化、 並びに資本業務提携契約締結に関するお知らせ

本日、当社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭）はソーシャルワイヤー株式会社（コード番号：3929、東京証券取引所グロース市場、本社：東京都港区、代表取締役社長：矢田峰之、以下、ソーシャルワイヤー）との間での資本業務提携（以下、本資本業務提携）及びソーシャルワイヤーが実施する第三者割当増資（以下、本第三者割当増資）により発行される株式を引き受けることを決議いたしました。また、当該決議の効力は、2024年6月27日開催予定のソーシャルワイヤーの第18回定時株主総会にて、当社の指名する複数の者がソーシャルワイヤーの取締役に選任され、取締役の過半数を占めることを条件としております。

なお、本第三者割当増資及び取締役過半数選任の結果、ソーシャルワイヤーは2024年7月1日（本第三者割当増資の払込期日）をもって当社の連結子会社となる予定であり、また、特定子会社に該当することになりますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社は「誰もがマーケティングで成功できる世界を創る」をパーパスに掲げ、「広告プラットフォーム事業」「マーケティング SaaS 事業」「海外事業」の3つの事業を展開しております。「広告プラットフォーム事業」においては、独自開発したインターネットメディアの広告収益最大化プラットフォーム「GENIEE SSP」、「GENIEE SSP」が持つ大量の広告配信データと顧客基盤を活かした広告主向けの「GENIEE DSP」、屋外広告を対象としたデジタル OOH 事業などを展開しております。「マーケティング SaaS 事業」においては、CRM（顧客管理）/SFA（営業管理）システム「GENIEE SFA/CRM」、チャット接客ツール「GENIEE CHAT」などの開発・運営、また「海外事業」においては、東南アジアだけでなく、インドや北米まで地域を拡大し、事業を展開しております。

ソーシャルワイヤーは「全ての魅力にスポットライトが当たる社会へ」を経営理念とし、当社のプロダクトと親和性の高い「リリース配信サービス」「インフルエンサーPRサービス」「クリッピングサービス」を展開しております。企業が継続的に活動していくSDGs（持続可能な開発目標）における「働きがいも経済成長も」で掲げられているターゲットに資するデジタルPRサービスを提供しております。

当社は、本資本業務提携により両社の関係性を深め、下記「2. 業務提携の内容等（1）業務提携の内容」に記載の取り組みについて具体化を進め、両社の強みを活かした新しいプロダクト・サービスを提供することで、今後の事業拡大や競争力の強化を図ります。

2. 業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

当社及びソーシャルワイヤーの経営資源（事業資産、人的資源及び顧客基盤等）を相互に補完し、有効活用することによってシナジー効果を発揮し、両社の事業基盤の強化拡大を図ることを目的としており、現時点において合意している業務提携の概要は以下のとおりです。

- (i) 両社は販売活動において、相互の提供サービスを優先的に紹介斡旋し、既存顧客へのクロスセル推進に努めるものとする。
- (ii) 両社はサプライチェーンにおいて、相互の提供サービスを標準化し、優先的に活用することに努めるものとする。
- (iii) 両社は、両者の有するシステム資産を活用し、共同プロジェクトとしてシステム開発／商品開発を推進するものとする。
- (iv) 両社は人材交流を含めた共同プロジェクトの推進に努めるものとする。

(2) 資本提携の内容

① 引受株式数	普通株式株 5,736,200 株
② 払込価額	1 株につき 231 円
③ 払込価額の総額	1,325,062,200 円
④ 払込期日	2024 年 7 月 1 日
⑤ 本第三者割当増資引受後の発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合	49.00%

3. 異動する子会社及び資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	ソーシャルワイヤー株式会社		
(2) 所 在 地	東京都港区新橋 1-1-13 アーバンネット内幸町ビル3階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 矢田 峰之		
(4) 事 業 内 容	デジタル PR 事業		
(5) 資 本 金	354 百万円 (2023 年 3 月末現在)		
(6) 設 立 年 月 日	2006 年 9 月 6 日		
(7) 大株主及び持株比率	矢田 峰之	19.86%	
	佐藤 幹雄	5.99%	
	ユナイテッド株式会社	5.30%	
	加藤 順彦 (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	4.86%	
	庄子 素史	2.58%	
	楽天証券株式会社	2.33%	
	山田 栄作	2.21%	
	荻巢 知子	1.98%	
	藤原 直美 (戸籍名: 川副直美)	1.96%	
	石田 朝子	1.93%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	(単位: 千円)		
決算期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期
純 資 産	1,080,376	1,064,145	211,772
総 資 産	5,172,912	4,977,579	4,724,089
1 株当たり純資産 (円)	176.88	175.61	32.85
売 上 高	4,566,083	4,630,337	4,769,571
営 業 利 益	125,313	164,070	△211,747
経 常 利 益	109,287	137,592	△201,373
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	△143,670	28,671	△876,873
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	△23.83	4.79	△146.82
1 株当たり配当金 (円)	9.00	0.00	0.00

※大株主及び持株比率は 2024 年 3 月 31 日時点の内容です。

ソーシャルワイヤーは、創業期よりデジタル PR 事業とシェアオフィス事業を主軸として成長してまいりましたが、コロナ禍等による外部環境変化に柔軟に対応するため、2023 年 9 月 1 日に国内

シェアオフィスサービス（クロスコープ横浜を除く9拠点）について事業譲渡を行い、クロスコープ横浜拠点を、2023年10月31日をもって閉鎖しました。これら事業構造改革の推進により、営業黒字化体質へ進行し、2024年3月期第3四半期連結期間において、8四半期ぶりに四半期黒字化を実現しております。

(参考) ソーシャルワイヤー2024年3月期 連結経営成績

(単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	1,138,561	1,021,833	762,234
売上総利益	476,649	468,658	479,078
販管費及び一般管理費	527,420	481,462	463,888
営業利益	△50,771	△12,804	15,190

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年4月25日
(2) 本資本業務提携契約締結日	2024年4月25日
(3) 本第三者割当増資に係る払込日	2024年7月1日（予定）
(4) 事業開始日	本第三者割当増資に係る払込日である2024年7月1日以降、本資本業務提携契約にもとづく業務提携に係る施策を開始していきます。

5. 今後の見通し

当社の連結業績への影響につきましては、現時点における当社2025年3月期連結業績への影響額は精査中であり、判明次第、速やかに開示いたします。

以上